

十寸穗芒云未須保或登蓮法師問二名何是也

〔重修本草綱目啓蒙八山草〕芒

ス。キ。ミ。ダ。レ。グ。サ。古名
ツ。キ。ナ。ミ。グ。サ。同上
ミ。ク。サ。同上
テ。キ。リ。ガ。ヤ。阿州

秋ニ至テ花アリ、和歌ニヲバナトヨメリ、獸ノ尾ニ似タルガ故ナリ、又アコメノハナト云、シマス

スキハ、葉ニ白キタテ筋アルヲ云、烏木コクダシノ嫩キハ、堅ニ白キ筋アリ、コレヲ間道鳥木ト云、又葉ニ白

キ筋アル紫萼ヲ間道玉簪ト云、其例ニ倣テ間道芒ト名クベシ、又一種一本ス、キハ、鐵蕉ソテツノ如ク

カブ高ク立テ、其上ニ葉ヲ叢生ス、漢名未ダ詳ナラズ、トラフス、キハ、葉ニ虎斑アルヲ云、鷹ノ羽

ス、キハ、斜ニ黄ナル斑アリテ、鷹羽紋ノ如シ、瓶花ニ多ク用ユ、歌ニ十寸穗ノ芒ト云ハ、穗ノ長ク

シテ一尺許アルヲ云、マスウノス、キト云ハ、眞蘇マホ方ノス、キヲ略スルナリ、色赤キヲ云、以上二

名大和本草ニ見タリ、又在原ス、キハ四季トモニ枯レズ、葉大ナリ、歌ニトキハス、キト云フ、

集解石芒。ハイトス、キ、小ス、キナリ、五月ニ花ヲ開ク、形狀芒ニ同ジクシテ小ナリ、掃帚ハハ

キ、敗芒箔ハフルキス、キノスダレ、

増、一種冬月葉ノ枯レザル者アリ、カンス、キト云、コレニモ堅ニ白キ筋ノ入タルアリ、シマカン

ス、キト云、又葉邊ノミ白キモノヲカゲカンス、キト云、至テ細キモノヲイトカンス、キト云、

共ニ正月ニ穗ヲ生ズ、

〔剪花翁傳八月開花〕薄 芽は春彼岸後より生ず、穗八月上旬に出るなり、穗葉共に用ふべし、郊野

に生ずる物なり、よて育方はいはず、

糸薄 葉至テ細く縦斑あり、穗八月上旬なり、穗葉ともに用ふ、性質薄に同じ、

〔渡邊幸庵對話〕一上總の内に山の根と云處あり、是諸星庄兵衛といふ人の御代官所也、是に池有、池の堤より水中へ六尺計有て、一本薄とて廿七本生ず、小さきは廻り壹尺餘、大は壹尺四寸廻り